

2026 年 7 月 22 日

株式会社博報堂 D Y ホールディングス

博報堂 D Y ホールディングス、ESG 投資指標**「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に 5 年連続で選定****「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄にも 3 年連続で選定**

株式会社博報堂 D Y ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：西山泰央）は、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関するマネジメントや取り組み等について優れた対応を行っている日本企業を対象とした指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に 5 年連続で選定されました。加えて、「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄にも 3 年連続で選定されましたのでお知らせいたします。

企業の ESG への取り組み姿勢は、経営の安定性や成長可能性を評価するうえで重要な要素とされ、「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、日本の公的年金事業を運営する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、企業の ESG への取り組みに注目する世界中の投資家に投資の判断基準として活用されています。

博報堂 D Y グループは、人を中心としたサステナブルな経営の実践により、生活者の想いがあふれ、いきいきと活躍できる社会を創り出すことを目指しており、その中で ESG に関するさまざまな取り組みを推進しています。このたび気候変動対策や労働基準、人権、コーポレートガバナンスに関する取り組みなどが評価され、構成銘柄に選定されました。

当社グループは、中期経営計画^{※1}において「サステナビリティ経営」に取り組むべき重要なテーマの一つに位置付けており、今後もグループを挙げてサステナブルな経営環境を整備してまいります。

※1：博報堂 D Y グループ 中期経営計画

https://www.hakuhodody-holdings.co.jp/businessplan/businessplan_outline/

■ 「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」について

ロンドン証券取引所グループ傘下の FTSE Russell が作成した、ESG に主眼を置いた指数。

・「FTSE4Good Index Series」

環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

・「**FTSE Blossom Japan Index**」

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）を含む ESG の対応に優れた日本企業を一定の評価基準に基づいて選定しているものです。

・「**FTSE Blossom Japan Sector Relative Index**」

各セクターにおいて相対的に、ESG について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されています。また、低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI※² 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

※2：TPI

Transition Pathway Initiative の略。企業の温室効果ガス排出量管理および、低炭素経済への移行に関連するリスクと機会への対応の質を評価したスコア。 <https://www.ftserussell.com/ja/index>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 D Y ホールディングス グループ広報・IR 室 玉
koho.mail@hakuhodo.co.jp